

北辰 13期生
128回 歩こう会
2017 11.06

フォト・プレス

茨木市中村町
畝狭恒雄
072-633-6198

錦秋の京都嵐山

天竜寺を訪ねて

秋晴れの11月6日午前10時、ウィークデイにも拘らず阪急嵐山駅は行楽客で混雑。参加者は、谷村さん、坂野さんたちと3人でした。



渡月橋上天竜寺へ

雲ひとつ無い青空の下、天竜寺に向かって歩きました。背景の山も少し紅葉には早い感じでした。

天竜寺入り口で旧友、安政さんと会いました。彼はここ天竜寺の職員でこの後、何かと便宜を図っていたが、法堂の有名な「雲竜図」を観しました。日本画の雄・加



法堂前で旧友と記念写真



師月の精進料理

山又造画伯の雲竜図は「八方睨み」の竜と言われ竜の顔全体を見ながら円に沿って堂内を歩いて回ると、ずっと竜に睨まれているように見えまして。本当に不思議な天井絵で画伯はその秘密を誰にも話されなかったとのこと。そろそろお昼時になったので精進料理の食事処・竜門亭師月に行きました。お料理は京都らしい薄口でとても美味しく頂きました。



座敷から見た庭園



室内から曹源池を臨む

座敷からは、錦秋の庭園が見られ、落ち着いた雰囲気です。天竜寺は臨済宗という禅宗のお寺で本堂は庫裡、大方丈（住職の居所）、書院、渡り廊下でつながれて多宝殿と言った構成になっています。大方丈の縁側から見る曹源池は天竜寺を開山した夢窓国師の作庭で案内によると「左手に嵐山正面に亀山・小倉山



書院から見た曹源池

秋晴の下、日常生活から抜け出たようなのんびりした桃源郷を味わった一日でした。欧州の幾何学的模様の庭園とは違い、借景など取り込み自然と融合した日本庭園の良さを満喫して帰りました。



大方丈前で曹源池をバックに

を借景した池泉回遊式庭園で優美な王朝文化と禅文化が巧みに溶け合った庭」とのことです。国の特別景勝地指定第一号で最古の回遊式庭園です。